

# 南山大学のキャリア支援について

## キャリア形成の必要性和支援制度

南山大学では、学生の社会的・職業的自立のために必要な知識、技能、態度を育むことを目的とした様々な支援を行っている。

### ○キャリア形成の必要性

社会的・職業的自立のためには、①自らの将来・人生をおおまかにでもしっかり設計できる能力（キャリア設計能力）を備え、②社会の中で自分が何を実現しようとするのか、職業をどのように考えるのか（キャリア・職業観）、③自分は何の道を進むのか（キャリア・職業選択）、④そのために何をすべきか、準備しておくのか（職業・専門能力）、などを明らかにしておく必要がある。

こうしたことは、授業の中だけでなく、クラブ活動などの課外活動、さらには学外での様々な経験を通じ、身につけ、また考えることができる。そこで、本学では、授業以外に多くのキャリア支援制度を設け、学生の社会的・職業的自立を支援している。

### ○キャリア形成の支援制度

本学のキャリア支援は、「教育課程・グループ指導」によって行われるものと、窓口相談等「個別支援・指導」によって行われるものに分けられる。また、前者には、次の4つの形態がある。

第1は、就職を含む今後のキャリアを考えることを目的とした支援制度（キャリアサポートプログラム・就職支援プログラム）であり、第2は、一般的な職業観・勤労観の育成、または専門教育の実地学習を目的とし、就業体験を行う教育プログラム（インターンシップ）である。これら2つは主としてキャリア支援課によって運営されている。

これに対して、第3は、各学部・学科・研究科において行われる教育で、特にキャリアの視点から授業内容が構成されている科目（各学部のキャリア科目）がある。なお、学校の教員や博物館学芸員、司書などを目指す場合には、資格（職業）の要件として、単位の取得が必要となる。本学では、これらの職業を目指す学生に対して、教職課程、博物館学芸員養成課程、司書課程および学校図書館司書教諭課程を設けて支援している。第4に、既に進路や希望する職業（就職先等）が選択されている学生を支援の対象とし、資格取得や受験準備を支援するもの（法職特別課外講座、会計士講座、エクステンション・カレッジ学生向け特別講座・公開講座）がある。詳細は、担当の窓口等で確認すること。

### ○進路希望調査

本学では、学生支援の一環として『進路希望調査』を実施している。この調査は、一人ひとりの進路希望に沿った情報提供や進路相談に役立てることを目的としている。毎年2回の調査時点での進路希望を回答すること。

### <担当窓口等>

	支援内容	窓口等	冊子・Web等
教育課程・グループ指導	キャリアサポートプログラム、就職支援プログラム	キャリア支援課	キャリアサポートガイド、Web ページ行事一覧、就活手帳（3年次配付）
	インターンシップ	キャリア支援課	キャリアサポートガイド、講義概要
	各学部のキャリア科目	キャリア支援課 ※履修登録に関することは教務課	講義概要
	教職課程	教務課・教職センター	講義概要
	博物館学芸員養成課程	教務課	
	司書課程・学校図書館司書教諭課程		
	法職特別課外講座	法学部事務室	講義概要
	会計士講座	経営学部事務室	
南山エクステンション・カレッジ公開講座・学生向け特別講座	南山エクステンション・カレッジ事務室	講座案内パンフレット	
個別支援・指導	留学	国際センター事務室	
	大学院進学	指導教員 入試課	入学試験要項
	就職・キャリア相談	キャリア支援課	
	学習等	指導教員	
その他	アルバイト・ボランティア・課外活動	学生課	

**キャリア形成の支援制度（教育課程・グループ指導）**

**I. キャリアサポートプログラム・就職支援プログラム [窓口：キャリア支援課]**

社会環境が大きく変化する中、社会へのスタートラインに立つ若者には、いままで以上に個人が問われ、自らキャリアを切り拓くことができる"自立型人材"が求められている。本学のキャリア支援課では、低年次から卒業まで学生のキャリア形成支援をサポートしている。

**(i) キャリアサポートプログラム**

入学後の早い段階から、将来の夢や目標を持つきっかけを提供し、社会で働き自立することの意義を考えるためのプログラム。「自らが選択すること」をベースにした自己形成の場を提供し、夢への挑戦をサポートする。

プログラム名	目的・内容	標準参加推奨年次	講師	日程
<b>新生サポート</b>	<b>新生対象プログラム。学生生活とその後のキャリアのつながりを考える</b>			
学科別学び方講座	各学科の担当教員が授業の進め方、卒業後の進路等を説明する。学生は自らの目標達成のための具体的な課題設定を行う。	1年次	学科教員	4月
<b>学年別サポート</b>	<b>新生および低年次生向けプログラム、学生生活の過ごし方、今のうちから準備しておくことを考える</b>			
学生生活デザイン・セミナー	留学やインターンシップ、進路決定や就職活動についてやキャリア支援課の利用方法等について学ぶ。	1,2年次	外部講師、学内講師、キャリア支援課スタッフ	5月、9～11月
<b>希望進路別サポート</b>	<b>進路希望調査に基づく、希望進路別ガイダンス。希望進路の実現に向け具体的に何をすべきかを学ぶ</b> ※以下以外にも、卒業生キャリア・アドバイザー等と調整し、様々なテーマや希望進路別のプログラムを数種類開催する。			
希望進路別ガイダンス	民間就職希望者、公務員希望者、大学院進学希望者それぞれに対し、本学の実績や希望進路実現に向けて実践すべきことなどを伝える。	2年次	外部講師 または学内講師	4月
テーマ別ワークショップ	「海外と関わる仕事」「モノづくりに関わる仕事」などテーマごとに必要な能力・資質とは何かを自ら考え、ワークを通じて在学中の経験等から養える力があることに気づく。また、「社会人基礎力」育成をテーマとし、社会で必要とされる力とは何か、それはどのように身に付けられるのかを考える。講座中のワークにより、自ら考え、アウトプットする力を養う。	2年次	卒業生キャリア・アドバイザー、 外部講師など	10～11月
<b>キャリアデザインサポート</b>	<b>卒業生などから実社会の現状を学び、社会で活躍することをイメージするプログラム</b>			
卒業生に聞いてみよう！	各業界で活躍する若手社員を招き、仕事や学生生活、就職活動の体験談などを聞く。複数業界の先輩から話を聞くことで、職業理解を深める。	主に 2年次	卒業生キャリア・アドバイザー など	1月
キャリアを考えよう！	実社会で活躍する外部講師による講演や学部教員の講義により、卒業後のキャリア形成や大学生活の過ごし方などを学ぶ。	2年次	外部講師 または学部教員	4～11月
南山大学卒業生キャリア・アドバイザーとの交流会	数十名の卒業生キャリア・アドバイザーを迎え、個別懇談等を通じて、多種多様な仕事や働き方があることを知る。	3年次	卒業生キャリア・アドバイザー など	12月
<b>自己発見サポート</b>	<b>(自己啓発型)インターンシップ参加希望者対象ガイダンス</b>			
職務適性テスト(Match+)	就職活動を控え、自己理解をしたいと考えている学生対象のプログラムです。本格的な就職活動の事前準備として自己理解に役立てることができま	主に 3年次	外部講師	4月
<b>名古屋銀行との連携協定プログラム</b>	<b>名古屋銀行との人財育成に関わる連携協定に基づいて実施する、PBL(問題解決型学習)プログラム</b>			
就業体験型プログラム (長期有償型インターンシップ)	ビジネスマナー、銀行用語の事前研修を経て、実際に営業店にてロビーマネージャー(お客様案内係)として勤務する。	3年次	名古屋銀行行員	5～7月、 9～11月、 1～3月
企画体験型プログラム (新規サービスモニター)	名古屋銀行のサービスについて、消費者の立場からよりよいサービスとするための改善案からプロモーションまでの企画を立案する。	3年次	名古屋銀行行員	5～12月
営業体験型プログラム (講義&フィールドワーク)	講義にて営業職の基本やマインドを学び、ロールプレイングやフィールドワークを通して実際の銀行営業を模擬体験する。	3年次	名古屋銀行行員	5～7月、 10～12月

※実施日程・場所などの詳細は、随時 PORTA にて告知予定。

(ii) 就職支援プログラム [窓口：キャリア支援課]

ガイダンスや各種講座、学内会社説明会などを実施し、就職活動をバックアップするプログラム。

就職ガイダンス (全3回/4月・9月・1月、文理別)	就職活動全般のオリエンテーションから始まり、就職活動の現状、南山大学の採用実績、PORTA 等から提供される就職情報の活用方法などを説明する。
就職講座 (春:4～6月、文理共通) (秋:10～11月、文理別)	就職活動に不可欠な要素をテーマ別に開講する。 <2023年度テーマ(予定)> 【文系】筆記試験対策/自己理解・自己PR/業界・職種研究/インターンシップ先の探し方、学内イベントの周り方/志望動機・エントリーシートの書き方/ビジネスマナー・面接対策/先輩の体験談  【理系】筆記試験対策/自己理解・自己PR/業界職種研究・志望動機/エントリーシートの書き方/面接対策/模擬面接/模擬グループディスカッション
学内企業説明会(2月)	学内において南山生を対象とした会社説明会を開催する。
業界・職種研究会(11～12月)	各業界を代表する企業から卒業生などを講師として招く連続講座。 業界全般の特徴や今後の展望などを学ぶ。
筆記試験対策	Web を利用したプログラム(有料・1年間自宅から何度でも受験可能)の案内やSPI 模試(有料)を実施している。
公務員試験対策	公務員希望者のための支援を実施する。 ・公務員ガイダンス ・公務員模試(有料) ・公務業界研究会
4年生向講座 (対象：学部4年生、 修士2年生など)	就職活動中の南山生を対象とした講座および学内会社説明会を実施する。 <2023年度実施プログラム(予定)> 優良中堅・中小企業の探し方/社会人準備セミナー/学内企業説明会

※ この他、「障がいのある学生のためのキャリアガイダンス」、「海外留学生就職ガイダンス」、「外国人留学生ガイダンス」、「Uターンガイダンス」等の特定対象者向けのプログラムも実施。

II. インターンシップ [窓口：キャリア支援課]

インターンシップとは、学生がその仕事に就く能力が自らに備わっているかどうか(自らがその仕事で通用するかどうか)を見極めることを目的に、自らの専攻を含む関心分野や将来のキャリアに関連した就業体験(企業の実務を経験すること)を行う行動です。職業への意識を高め、自分の適性を知るという点で大きな意義をもつ制度、次の2種類をサポートしている。

インターンシップ研修Ⅰ インターンシップ研修Ⅱ 〔共通教育科目・各1単位〕 授業コード：14B01-001, 002, 003 14B02-001, 002 学年：2～4年次	共通教育科目として開講しており、2022年度は約35名の学生が受入機関での実習を行った。履修にあたっては、事前履修説明会の内容を十分理解すること。 授業内容としては、第1クォーター、第2クォーター、第4クォーターに開講しているインターンシップ研修Ⅰで、インターンシップ実習のための必要な知識の取得や能力開発を行う。引き続き第3クォーター、第1クォーターに開講しているインターンシップ研修Ⅱでは、長期休暇中に企業などで5～10日程度の実習後、インターンシップ報告会とまとめ研修の講義を行う。 ※詳細はシラバス(講義概要)の「インターンシップ研修Ⅰ」、「インターンシップ研修Ⅱ」を参照
自己啓発型インターンシップ 学年：全学年	単位取得とは関係なく、自分で受入先を探して参加するインターンシップ。インターンシップ対策講座や学生生活デザインセミナーⅢでは、インターンシップ筆記試験対策、エントリーシートの書き方や面接対策等を説明する。 また、必要に応じて受入機関との覚書締結やインターンシップ賠償責任保険の加入等もサポートする。 ※実務体験を伴うインターンシップは3年次から参加できます。

Ⅲ. 各学部のキャリア科目

[窓口：キャリア支援課 ※履修登録に関することは教務課]

各学部学科では、社会的・職業的自立に向け、必要な知識、技能、態度をはぐくむ科目を開講している。

※詳細は講義概要の当該科目欄を参照。

学部等	授業コード	科目名	補足事項等	
共通教育科目	14B01-001～003	インターンシップ研修Ⅰ		
	14B02-001, 002	インターンシップ研修Ⅱ		
人文学部	20A07-001	人文学とキャリア形成		
外国語学部	30A01-001	キャリアデザイン	1～3年次生対象学部共通科目	
経済学部	40E01-001	仕事とキャリアの形成		
	40E02-001	自己とキャリアの形成		
	40E03-001	企業と業界の研究		
	42F08-001	現代産業論(先輩実務家と語る)1		
	42F08-002	現代産業論(先輩実務家と語る)2		
	42F09-001	職業指導		
	42C05-001	経営労務論 A		
	42C06-001	経営労務論 B		
	経営学部	42C25-001	組織心理学 A	
		42C26-001	組織心理学 B	
		42D01-001	情報基礎 1	
		42D01-002	情報基礎 2	
		42E07-001	経営倫理	
		42G09-001	ビジネス英語海外研修	
法学部		44L01-001	大学入門 (法学部)	
		44L02-001	キャリア入門 (法学部) A	
	44L03-001	キャリア入門 (法学部) B		
	44L04-001	法職研究		
	44L05-001	インターンシップ演習 (法学部) A	名古屋市インターンシップへの派遣学生を対象とする。	
	(2023 不開講)	インターンシップ演習 (法学部) B		
総合政策学部	46E07-001	数量的アプローチ 1		
	46E07-002	数量的アプローチ 2		
	46D04-001	産業心理学		
	46D07-001	社会学概論		
	46D13-001	経営学概論		
	46G01-001	政策の現場から A		
	46K05-001	組織行動論		
	46A02-001～017	総合政策基礎演習 A		
	46A04-001～017	総合政策基礎演習 C		
理工学部	50A21-001～008	理工学基礎演習		
	50A23-001	理工学概論(データサイエンス)		
	52B10-001	ソフトウェア工学特別講義		
	56A09-001	通信理論		
	57A07-001	制御工学基礎		
国際教養学部	48A32-001	キャリアデザイン 1		

Ⅳ. 教職課程 [窓口：教務課・教職センター]、博物館学芸員養成課程、司書課程、学校図書館司書教諭課程 [窓口：教務課]

学校の教員や学芸員、図書館司書などを目指す学生のために教職課程、博物館学芸員養成課程、司書課程および学校図書館司書教諭課程があり、一部の学部を除いて履修可能である。これらの職業では、各課程で単位を取得し、資格を有することが採用の条件となる。教職課程については、1年次の春に新入生対象教職課程ガイダンスを開くが、相談は教務課（履修関連）および

教職センター（採用関連）で随時行っている。教職関連科目は、1年次から履修することが望ましい。

※詳細は冊子「授業科目履修案内（履修要項）」の【資格】のページを参照。

## V. 法職特別課外講座、会計士講座、南山エクステンション・カレッジ公開講座・学生向け特別講座

### (i) 法職特別課外講座 [窓口：法学部事務室]

公務員試験、法科大学院等に照準を合わせた対策講座で、毎年100名ほどの学生が参加している。法学部・法科大学院の教員や実務経験豊富な弁護士・現役司法書士等が指導にあたる。憲法、民法、刑法の主要3科目にはベーシックコースがそれぞれ用意されている。法学部以外の学生の受講も可能である。

※詳細は講義概要、法学部発行「めざせ！スペシャリスト - 法職特別講座案内（募集要項）」、法学部 Web ページ (<https://depts.nanzan-u.ac.jp/ugrad/HOUGAKU/career/extralessons.html>) を参照。

### (ii) 会計士講座 [窓口：経営学部事務室]

会計士講座は、公認会計士や税理士などの資格試験を目指す学生はもちろん、会計を深く学びたいと考えているすべての学生に開かれた団体である。学生たちは、自主的に集まり、教員や先輩の指導を受けつつ情報交換や勉強会、試験前合宿などを行っているほか、本学教員および会計士講座OBとの交流会も実施している。また、キャンパス内に講座室があり、運営資金の一部について大学より援助を受けるなど、サポート体制も整っている。

※詳細は講義概要を参照。

### (iii) 南山エクステンション・カレッジ学生向け特別講座 [有料 窓口：南山エクステンション・カレッジ事務室]

南山エクステンション・カレッジでは、在学中からより複線的なキャリア形成や知識の高度化・専門化に対応した学びができる本学の学生のための特別講座を割安に開講している。2023年度の予定としては、公務員試験対策講座（総合コース・教養コース）、宅地建物取引士講座、教員採用試験対策講座、簿記、会計士講座、エアライン就職対策講座がある。また、この他に南山エクステンション・カレッジ公開講座として、日商簿記検定、ファイナンシャル・プランニング技能士検定等の講座を開講している。

※詳細は PORTA および南山エクステンション・カレッジ Web ページ (<http://office.nanzan-u.ac.jp/EXTENSION/>) を参照。

## キャリア形成の支援制度（個別支援・指導）

### I. 留学、大学院進学

#### (i) 留学 [窓口：国際センター事務室（派遣留学係）]

本学には学部を問わず留学できるプログラムが整っている。交換留学・認定留学の場合は、留学先大学で修得した単位を30単位まで本学の単位として認定申請できるほか、留学期間を在学期間に算入することにより4年間での卒業も可能となる。ただし、留学の準備には1年以上の時間を要することも珍しくないため、目的を明確にし、早めかつ計画的な行動が求められる。長期留学に加え、短期留学プログラムにおける語学研修や異文化体験を通じ海外への視野を広げる機会も用意されている。

#### (ii) 大学院 [入試に関する窓口：入試課、履修内容に関する窓口：各研究科事務室]

本学大学院は学部における教育の基礎の上に、高度にして専門的な学術の理論および応用を研究し、その深奥を究めると共に、キリスト教世界観に立ち、人間の尊厳を自覚した社会人として、文化の進展と人類の福祉に寄与する人物を養成することを目的としている。

本学大学院には博士課程、修士課程および専門職学位課程が設置されている。博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うことを目的とする。修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または、高度の専門性を要する職業に必要な高度の能力を養うことを目的とする。博士課程の標準修業年限を5年とし、これを前期2年および後期3年の課程に区分している。前期2年を博士前

期課程といい、後期3年を博士後期課程という。前期2年の課程は、これを修士課程として取り扱うものとする。専門職学位課程は、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識および卓越した能力を培うことを目的とする。

<推薦入学審査について>

卒業後の進路選択のひとつとして大学院進学がある。本学大学院では、在学生に対し、推薦入学審査を実施している。

※詳細は入学審査要項を参照。

## II. 就職・キャリア相談 [窓口：キャリア支援課]

年間を通じて、就職・キャリアに関する相談を受け付けている（要予約）。キャリアカウンセラーやスタッフが進路に関する不安や悩み、就職活動における自己分析・企業研究・筆記試験や面接に関する疑問など、各種相談に応じる。インターンシップや求人に関する情報提供、OB・OG訪問のための卒業生名簿貸し出しなども行っている。1年次から利用可能である。